

報道関係者各位

2020 年 7 月 8 日
スマート・スケープ株式会社

「今送ったそのデータ、“なかったこと”にできます」

セキュリティを後から遠隔コントロールできる DRM ソリューション

「Security Control for PDF」を 7 月 8 日提供開始

先進技術を活用したシステムインテグレーション事業を展開するスマート・スケープ株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：吉田 隆)は PDF/3DPDF に対してセキュリティの遠隔コントロールを可能にする DRM※ソリューション「Security Control for PDF」の提供を 7 月 8 日に開始します。

※デジタル著作権管理



■『Security Control for PDF』とは

「Security Control for PDF」は、PDF の送付前に簡単操作でラベリングをすることで、閲覧可能な期日を設けたり、後からファイルが無効化したり、閲覧パスワードを変更するなど、セキュリティの遠隔コントロールを可能にするソリューションです。

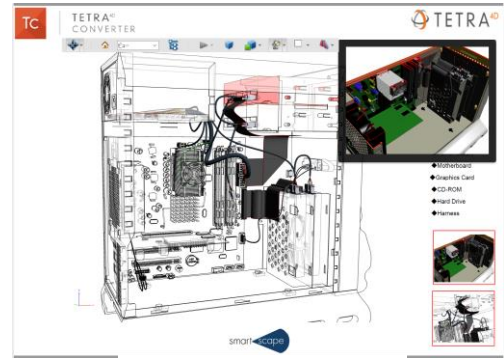


■低コストなライセンス構造

一般的な DRM ソリューションは、「ライセンスが高額」「ファイルの受け取り側の人数もライセンスが必要」など、導入にかかるコストが高額となる傾向があります。本ソリューションのライセンスは、18,000 円/年～で利用可能な低価格設計となっており、セキュリティを付与する人だけライセンスを消費するため、受け取り側の人数にライセンスは左右されません。

■デジタル化推進でデータ共有・活用が進む中、漏洩リスクによる足踏みも

製造・土木・建築業ではデジタル化推進に伴い、文書データでの PDF 活用はもちろんのこと、2DCAD 図面の PDF 共有や 3DCAD モデルの 3DPDF 共有により「合意形成の高速化」「認識祖語の減少」「作業効率化」を図ることがスタンダード化されつつあります。その一方で、データ漏洩による海外での模倣品製造（盗作）リスクやノウハウ流出リスクなどを懸念し、データ共有によるメリットに積極的ではない企業も多く存在します。本ソリューションは、「パスワードを定期的に変更する」「ファイルを開ける期日を設ける」など、懸念するリスクを軽減し、ビジネスを加速するためのツールとしてご利用頂けます。



※弊社 3DPDF サンプル

スマート・スケープは今後も先進技術を活用・応用した次世代ソリューションの提供に努め、お客様の業務課題改善に貢献して参ります。

■ソリューション概要

名称 : Security Control for PDF

提供開始日 : 7 月 8 日

URL : <https://www.3dpdf.jp/securitycontrol>

商品に関する問合せ先 : プロダクト事業部 製品担当者宛 3dpdf@smartscape.co.jp

■会社概要

社名 : スマート・スケープ株式会社

代表取締役 : 吉田 隆

設立 : 2003 年 2 月 18 日

所在地 : 東京都港区港南 1-8-40 A-PLACE 品川 8F

従業員数 : 80 名

資本金 : 3,500 万円

事業内容 : 情報通信関連技術の研究開発、受託開発、販売ならびに情報通信関連技術を用いたコンサルタント業務

関連企業 : スマートエンジニア株式会社

: スマートインプリメント株式会社

: スマートホールディングス株式会社

URL : <https://www.smartscape.co.jp/>

【お問い合わせ先】

スマートホールディングス 広報事務局

担当 : 柴山 (携帯 070-1389-0172)

E-mail : pr@netamoto.co.jp TEL 03-5411-0066 FAX 03-3401-7788